



JTU将来構想「経営戦略の策定」

triathlon

2018年6月20日(水) JTU定時社員総会提出



**2020年以降を見据え、
公益社団法人日本トライアスロン連合が、
社会や未来に何を残すのか、
またどのような姿を目指すのかを検討し、
理想の実現に必要な取り組みを定義する。**



JTUの使命・役割・活動



MISSION
使命

【MISSION】

- ・トライアスロン競技の更なる強化・普及を図り、健全な心身の発達に努め、競技団体としての社会的地位向上を図る
- ・トライアスロン競技の、卓越した国際基準・国内基準を定め、トライアスロン競技をグローバルに成長させる

= 目的

VISION
役割

【VISION】

【普及】
社会に調和と融合するトライアスロンの普及活動の推進

- * 会員登録数 5 万人
- * 競技愛好者数 5 0 万人
- * 国内大会数 5 0 0 大会の推進

【強化】
継続性のあるアスリートの育成強化

- * オリンピック・パラリンピック (2020年東京・2024年パリ) メダル獲得
- * オリンピック・パラリンピック・マルチスポーツにおける国際トップレベルの選手・指導者の強化
- * ジュニア・高校生の育成システムの確立

【組織】
スポーツ界をリードする信頼されるグローバルな組織の確立

- * トライアスロンの社会的価値の創出
- * 安全・安心な競技環境の整備

= 目標

ACTIVITY
活動

【普及】

- 1) JTU会員登録価値の最大化
- 2) ジュニア層の育成とインターハイ参入
- 3) 生涯スポーツとしての価値の最大化
- 4) 女性が参加しやすい環境の整備
- 5) 国内大会の充実
- 6) 競技環境の整備
- 7) 関連企業・団体との連携強化
- 8) みるスポーツとしての価値の創出
- 9) メディア強化によるトライアスロンムーブメントの創出

【強化】

- 1) WTS・WPSで表彰台に立つ選手層の拡充
- 2) 競争体制の充実
- 3) 世界トップコーチ・プロの指導者の育成
- 4) 育成システムの更なる充実
- 5) タレント発掘事業の確立
- 6) セカンドキャリアの充実
- 7) 報奨金制度の充実
- 8) メダルを獲得するための強化戦略・方針の明確化

【組織】

- 1) 経営戦略チーム設置による 経営状況の管理体制及び対策の強化
- 2) 組織の透明化
- 3) 人材育成・登用による組織の活性化
- 4) IF等役員・委員・外部組織への人材輩出による情報力強化
- 5) 世界基準の組織・ルールの導入
- 6) 持続的な財務基盤
- 7) 安心安全な競技環境の整備
- 8) 加盟団体の法人化の推進

= 手段

JTU MISSION

・トライアスロン競技の
更なる強化・普及を図り、健全な心身の発達に
努め、競技団体としての社会的地位向上を図る

・トライアスロン競技の
卓越した国際基準・国内基準を定め
トライアスロン競技をグローバルに成長させる

JTU VISION

社会に調和と融合するトライアスロンの普及活動の推進 【普及】

- * 会員登録数 5 万人
- * トライアスロンファミリー（競技愛好者数） 5 0 万人
- * 国内大会数 5 0 0 大会の推進

継続性のあるアスリートの育成強化 【強化】

- * オリンピック・パラリンピック（2020年東京・2024年パリ）メダル獲得
- * オリンピック・パラリンピック・マルチスポーツにおける国際トップレベルの選手・指導者の強化
- * ジュニア層・高校生年代の育成システムの確立

スポーツ界をリードする信頼されるグローバルな組織の確立 【組織】

- * トライアスロンの社会的価値の創出
- * 安全・安心な競技環境の整備

<JTU VISION 1>

社会に調和と融合するトライアスロンの普及活動の推進

* 会員登録数5万人 * 競技愛好者数50万人 * 国内大会数500大会の推進

<Action Plan 1>

1) JTU会員登録価値の最大化

JTU会員を優遇した大会。登録メリットの創出。

2) ジュニア層の育成とインターハイ参入

小中高校生 # 一貫した育成 # 学校教育との連携

3) 生涯スポーツとしての価値の最大化

高齢者を対象とした取り組み

4) 女性が参加しやすい環境の整備

5) 国内大会の充実

各県加盟団体の組織力の強化

地域に密着した大会

身近・手軽に参加可能な大会

6) 競技環境の整備

総合地域型スポーツクラブ及び民間クラブとの連携

練習・競技できる場の創出

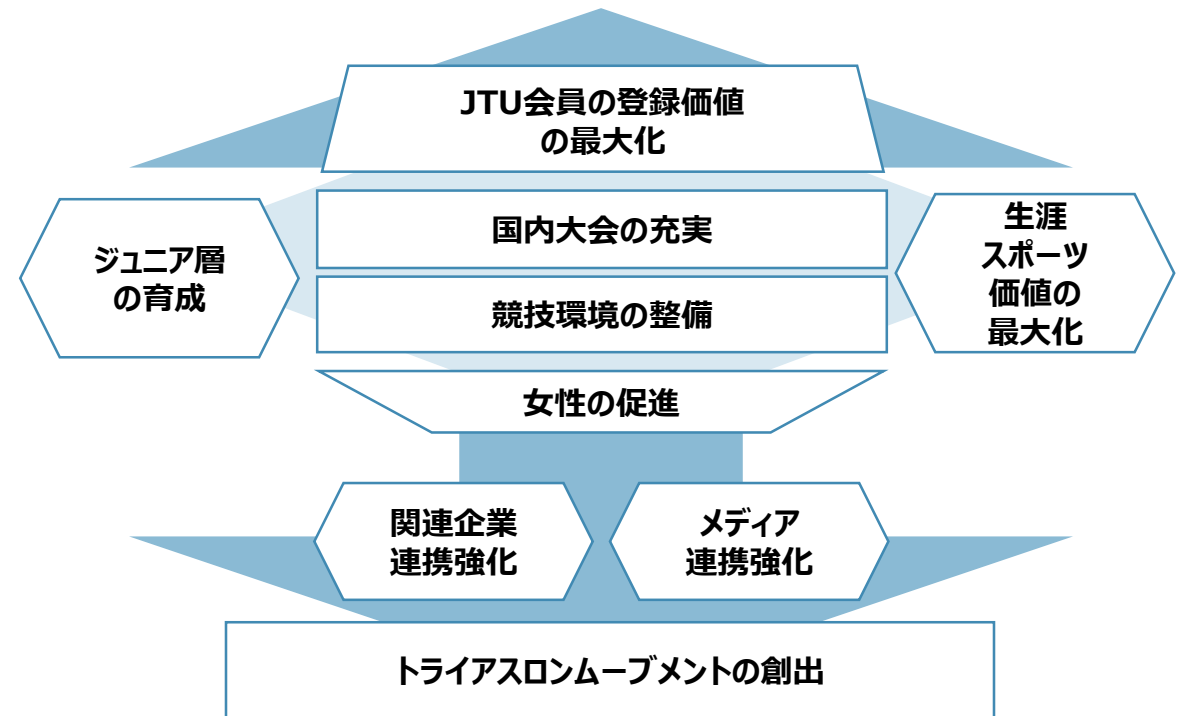
安全な競技環境

7) 関連企業・団体との連携強化

8) みるスポーツとしての価値の創出

9) メディア強化によるトライアスロンムーブメントの創出

デジタルメディア # SNS # TV # 他



<JTU VISION 2>

継続性のあるアスリートの育成強化

* オリンピック・パラリンピック（2020年東京・2024年パリ）メダル獲得

* オリンピック・パラリンピック・マルチスポーツにおける国際トップレベルの選手・指導者の強化 * ジュニア層・高校生年代の育成システムの確立

<Action Plan 2>

1) WTS・WPSで表彰台に立つ選手層の拡充

海外派遣の充実 # 科学的トレーニングの導入 # 他

2) 競争体制の充実

海外選手 # 男子・女子の強化体制を明確に分ける # 国際大会の充実
他競技団体連携

3) 世界トップコーチ・プロの指導者の育成

海外派遣 # 海外指導者の招へい # 科学的トレーニングの導入
指導者への待遇強化 # 他

4) 育成システムの更なる充実

ジュニア世代の育成 # 世界トップアスリートを輩出するアカデミー制度の確立

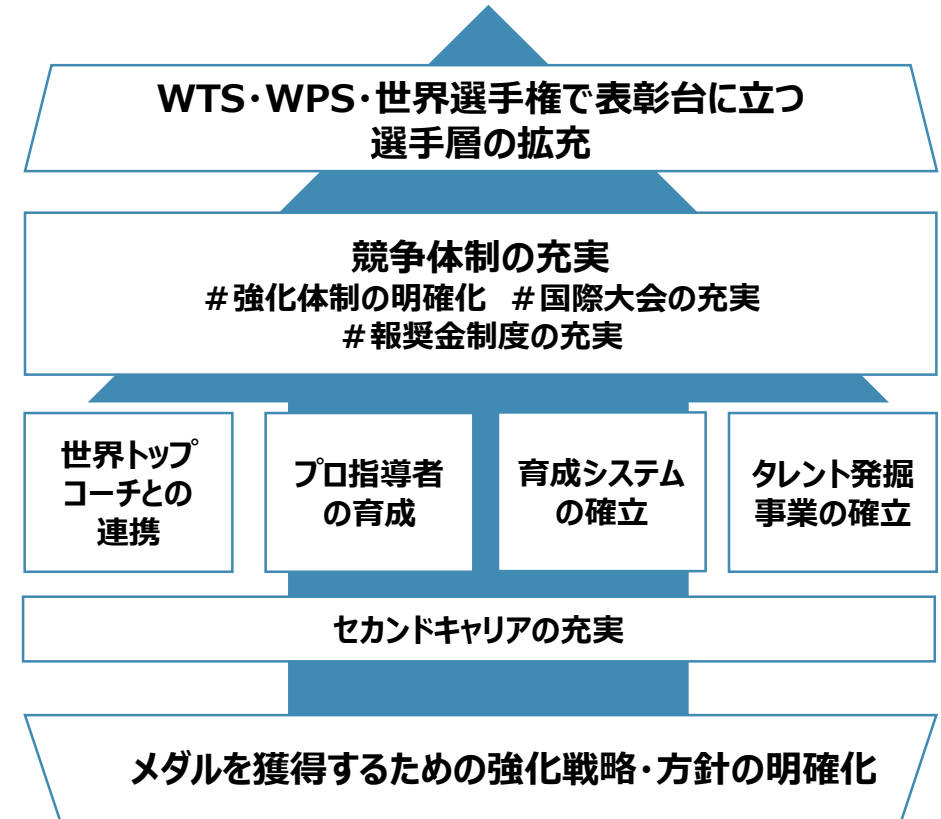
5) タレント発掘事業の確立

地域発掘 # トランスファー # 他競技団体の連携

6) セカンドキャリアの充実

7) 報奨金制度の充実

8) メダルを獲得するための強化戦略・方針の明確化



<JTU VISION 3>

スポーツ界をリードする信頼されるグローバルな組織の確立

トライアスロンの社会的価値の創出 安全・安心な競技環境の整備

<Action Plan 3>

- 1) 経営戦略チーム設置による
経営状況の管理体制及び対策の強化
2020年以降の戦略の立案
- 2) 組織の透明化
情報開示 # 役員(理事)選挙の実施検討 # 決裁権限の明確化
外部チェック体制の強化
- 3) 人材育成・登用による組織の活性化
女性役員・委員 # 外部人材・有識者 # エリート選手経験者 # 次世代人材
経営人材 # 国際人
- 4) IF等役員・委員・外部組織への人材輩出による情報力強化
- 5) 世界基準の組織・ルールを導入
資格制度(審判・指導者等) # 競技規則・組織体制
- 6) 持続的な財務基盤
マーケティングの活用 # 会員収入増に向けた施策等(会費増等)
2020年以降の財務計画・戦略の立案
- 7) 安心安全な競技環境の整備
競技環境整備委員会の設置 # 安全対策ガイドラインの整備
- 8) 加盟団体の法人化の推進

